郷土が生んだ三英傑

監修／愛知学院大学　名誉教授　林 董一

豊臣秀吉 とよとみひでよし 1537〜1598

尾張中村で出生。初名・木下藤吉郎、のち羽柴秀吉。信長に仕え、頭角をあらわす。本能寺の変のあと、主君・信長の敵、明智光秀を討ち、その遺志を継いで、九州、四国、関東を平定、天下統一の夢を果たす。

ねね 1549〜1624

信長の家臣・浅野長勝の養女。信長に仕える木下藤吉郎、のちの秀吉の妻に。秀吉との間に子がなく、側室淀君の子、秀頼を育てた。賢夫人の誉れが高く、全国平定に心をくだく秀吉をたすけ、夫が関白になると、北政所と尊称された。秀吉の死後、仏門に入り、高台院と呼ばれた。

織田信長 おだのぶなが 1534〜1582

尾張の生まれ。桶狭間の戦いで今川氏に勝ち、駿河と遠江をおさえて、ついに京に入った。武田氏との長篠の合戦では鉄砲を多用した戦法を取るなど、天下統一を進めていったが、それを目前にして家臣の明智光秀に襲われ、京都本能寺で自害。

濃姫 のうひめ ?〜?

十五歳で信長に嫁ぐ。その際、父の斉藤道三から「万一のときは夫信長を刺せ」と刀を渡されたが、この刀を父上に向けることになるかも、と答えるほどの聡明さ。

徳川家康 とくがわいえやす 1542〜1616

三河岡崎の城主・松平広忠の子。織田家、今川家の人質となって幼少期を過ごす。桶狭間の戦いのあと、信長と結んで三河を鎮定。豊臣政権の中枢にもなったが、秀吉の没後、関ヶ原の合戦で天下の実権を手中に。やがて征夷大将軍に任ぜられ、江戸幕府を開いた。

千姫 せんひめ 1597〜1666

徳川家康の孫、二代将軍・秀忠の女（むすめ）。七歳の幼さで秀吉の子・秀頼と政略結婚し、大坂城に移る。大坂夏の陣で、落城の炎の中を徳川方の勇将・坂崎出羽守に助け出された。翌年、本多忠刻と再婚。夫の死後、天樹院と称した。

つながる力。動かす力。

AICHI GAKUIN UNIVERSITY 愛知学院大学

10学部16学科＋短期大学部の総合大学

◇**文学部**：歴史学科・日本文化学科・英語英米文化学科・グローバル英語学科・宗教文化学科
◇**心理学部**：心理学科 ◇**健康科学部**（健康科学科・健康栄養学科）
◇**商学部**：商学科 ◇**経営学部**：経営学科 ◇**経済学部**：経済学科
◇**法学部**：法律学科・現代社会法学科 ◇**総合政策学部**：総合政策学科
◇**薬学部**：医療薬学科（6年制） ◇**歯学部**：歯学科 ◇**短期大学部**：歯科衛生学科（3年制）
◇**歯科技工専門学校** ◇**愛知中学校・高等学校（同一法人）**
愛知県日進市岩崎町阿良池12　入試センター TEL:0561-73-1111（代） www.agu.ac.jp